

「札幌市障害福祉施策に関するアンケート調査 回答用紙」

お名前 宮本 吉人 記入日 3 月 20 日

所属政党 自由民主党 選挙区 中央区

<アンケート回答記入欄>

(Q1～Q9は対応する設問の選択肢番号(例:①)を中欄に、その回答理由または、「その他」の回答内容は、右欄にご記入ください。)

Q1.	②	訓練が必要な障害者にとっては、地域生活へ移行のために施設での支援は必要である。
Q2.	③	障害程度区分を基準とし、本人や家族の意向や状況その他、個々の状況に応じたサービス支給量を決定すべきである。
Q3.	③	志益負担、ノ割負担を基準とし、これに応能負担を加味した費用負担にすべきである。
Q4.	②	例外として、止むを得ない事情がある場合に限って、特別な対応も必要である。
Q5.	①	利用者の意向を汲みとった施設・設備とするような見直しをすべきである。
Q6.	③	ボランティア派遣、相談員、バリアフリー化等の公的サービスと家族・本人の努力によるべきである。しかし、個々のケースに応じた柔軟な対応は必要である。
Q7.	①	札幌市も別枠採用や職場実習を行っているが、民間企業の雇用を促進すべきである。
Q8.	③	札幌市も含め、障害者の支援に対する社会の理解と促進することは重要であり、 第一義的な事業主体である北海道と連携を 図って取り組むべきである。
Q9.	④	障害者の権利向上は重要であり、札幌市はいかにすべきかを、市民論議を重ねていく必要があると思う。
Q10.		